



通信 i・ストリーム 4月号 (2017)



皆様、こんにちは。桜が咲き始め春を感じる季節ですね。

文：小川 康成

さて、今回は女性のかかりやすいがん『乳がん』についてです。

厚生労働省の調査によると 女性のかかりやすい No.1 がんは変わらず「乳がん」となっております。(H26 年傷病調査)

右図のように、女性がん患者の 3人に一人は「乳がん」 というデータが出ております。

1位	乳がん	27.5%
2位	結腸がん	14.5%
3位	胃がん	8.3%

乳がんの場合、部位がリンパ線に近く転移しやすいとも言われ注意が必要ですが、5年生存率が平均92.9%とも言われており（全がん協データより）早期発見できれば治る確率も高いようです。

女性のがん ランキング

乳がんの検査はマンモグラフィーが主な方法ですが、日本人（アジア人）に多い高濃度乳腺（デンスブレスト）の場合、実はがんも乳腺も白く映ってしまい、はっきりと判定ができない事も多いそうです。その場合超音波（エコー）検査の併用が推奨されています。

そこで、気になるニュースがあり、鹿児島県指宿市にある「メディポリス国際陽子線センター」では、陽子線（高精度放射線の一種で後遺症や傷跡の残らない治療法）による、早期乳がん治療を平成27年6月に行い無事終了しています。

従来、乳がんなどの動きやすい部位は、陽子線治療には不向きと言われてきましたが、その中で「乳がん」の治療成功は、大変喜ばしい事であり、後の問題は金銭的負担となりますが、陽子線治療は全額自己負担となるので、技術料の治療費が約300万円、プラス鹿児島までの飛行機代、入院などの宿泊費となります。

医療保険やがん保険の「先進医療特約」で技術料と言われる治療費はカバーできますが、交通費や宿泊費までカバーしてくれる保険会社もあり、治療の特殊性により遠方まで治療に行かないと行けない「先進医療」に関する治療に関しては、その部分も実際には大切な選択要素の一つとなります。（実際に弊社のお客さまでも、遠方の為先進医療をあきらめた方もいらっしゃいます）

3月28日の日経新聞1面に記載が有りましたが、長寿化の影響で医療保険やがん保険は支払いが従来よりも増え、来年4月にも値上げの可能性が有るそうです。

もしかしたら、医療保険・がん保険の見直しや加入は今年が良いのかも知れませんね。

クラークメンバー 近況報告

西伊豆温泉「くるら戸田」

1月・2月・3月は寒い瀬戸を脱出して、暖かい伊豆へ行き月の半分を過ごしていました。

「戸田」といえばあの高足ガニが有名なところですが、最近「道の駅 くるら戸田」が人気の様です。

道の駅 くるら戸田は2年程前にできたばかりの施設で、日帰り温泉施設や軽食・歴史観光展示など有り、その中でも無料の足湯や日帰り温泉の入湯料は、なんと5,000円で15枚（1回333円）という安さでした。ここから2km程のところに出逢岬という観光スポットがあり、天然の良港「戸田港」とそれをゆるやかに包む御浜岬、正面は雄大な駿河湾、右手に長い裾野をたなびかせる霊峰富士山。その全てが一望できるビューポイントです。（沼津観光ガイドより）ここで読書をしたり、近くの岸壁で魚を釣ったりするのも良かったです。

急遽釣りをやろうと思い漁業組合へ行ったら、800円で竿が売っていたので、購入し使用したらなんと「タカベ」という魚が40~100匹も釣れてびっくりです。背びれが少し硬かったですが、フライにして食べてみましたら美味しかったです。

この他、近くには井田の富士山と菜の花、土肥金山等見どころがありますよ。

寒い時は、暖かいところが一番という今冬でした。

小川 金治



4月は始まりの季節

年の始まりといえはもちろん1月ですが年度は4月、なので様々な行事の始まりが集中しますね。小・中学校、高校なら進級してクラス替えがあり、昔はクラス替えの度に仲の良い友達と同じクラスになれるかドキドキしていました。



ですが学校を卒業してしまうと年度が変わっても周囲に大きな変化はなくなってしまいます。ということで、今年は変化を求めて習い事を始めてみることにしてみました(^)

習い事とは言いましたが、市が開いている講座で、3ヶ月程度しか期間がないものですが…。それでも新しいことを始める良いきっかけになると思い、思い切って申し込んでみました！いくつか申し込んだのですが、その中でも一番楽しみなのが弓道教室です。

高校では弓道部に所属していたのですが、しばらく触れていなかったのでまた始められることにワクワクしています。

当時は自分用の弓は持っていませんでしたが、（矢は持っています）今回は買ってみようかな…と考えています。

まだまだ先になるとは思いますが、今年度中に実現したい目標の一つです。

小池奈菜子



子供の成長



娘が、2月下旬頃「新しい歯が生えてきた」と言うので、良く見ると永久歯が少し出てきていました。私がか子供の頃はたこ糸などを結び抜いていた記憶があるため、乳歯がクラクラしてきた時に抜こうと言ったら、娘はもちろん「嫌！！」

そこで、歯医者へ相談（と言うより、抜いてくれるかな？）と思い歯医者へ連れて行ったら、先生が「無理に抜かなくても、永久歯がしっかりしてきたら自然に抜けますよ。少しずつ手でグラグラと動かしてね」と説明受けたので、それを聞いた娘は「このままで大丈夫だって。手でグラグラやるから」となっていました。

3月中旬頃からは、固い物など食べる時に痛がる事が多くなり、永久歯もかなり出てきたので、心配していましたし、凄くグラグラになったのでとうとうたこ糸の出番かな？とっていました。



抜けた下の歯は屋根めがけて投げました。自然に抜けるか心配していましたが無事に抜け、また子供の成長を感じた1日でした。 小川真紀

